

輝く山梨をスポーツの力で



2018年1月下旬から2月上旬にかけて、本県で冬季国体(富士の国やまなし国体)・冬季インターハイが、また2020年には、東京オリンピック・パラリンピックが開催されます。県では、こうした機会を生かし、スポーツを通じて県民の一体感をつくり上げ地域の活性化を促進するため、さまざまな取り組みを行っています。



スポーツがもたらしてくれるもの

目標に向かって鍛錬し、困難を乗り越えて結果を出すことで達成感を得られる、それがスポーツの魅力です。

そこで今回は、オリンピック・国体の両大会の出場経験を持つ陸上選手・野澤啓佑さんが、母校である南アルプス市立甲西中学校を訪れ、陸上部の生徒たちにアスリートとしての思いを語ってくれました。

諦めないことが夢の実現につながる

子どもの頃から体を動かすことが好きで、中学で陸上部に入りましたが、目立った選手ではなかったため、高校で陸上を続けるか迷いました。でも、顧問の先生の「好きなことは続けた方がいい」という言葉に背中を押されました。高校に入学後、400メートルハードルに転向したことが転機となり、良い結果が出るようになっていきました。陸上を始めた頃はオリンピックに出場することなど考えてもいませんでしたが、中学、高校



野澤さんが見守る中、スタートダッシュを練習する陸上部の生徒



野澤さんにアドバイスをもらい、伸びやかにハードルを跳ぶ生徒たち

での先生方との出会いがあったことで、次第にオリンピック出場という目標を明確に持てるようになりました。多くの皆さんに応援していただきながら陸上を続けてきた結果、今の自分があるん

スポーツは、国境を越えて理解し合える

大学に入学後、海外遠征が増えました。海外にはレベルの高い選手が多く、自分との力の差にショックを受けましたが、それがいい刺激となり、競技力が向上したと思います。目標を持って頑張り、つらさを乗り越えて結果を出すことで達成感を得られることも、スポーツの魅力です。また、海外の選手とコミュニケーションを取るためには最低限の語学力を身に付ける必要がありますが、言葉がうまく通じな

です。さまざまな人との出会いを大切にすること、諦めないで好きなことをやり続けることで、思い描いた夢はかなうと思います。中学生の皆さんも、そうした気持ちを強く持ち続けてほしいですね。くても、スポーツをしていることでお互い意思の疎通が図られ、選手同士で仲良くなることもできました。スポーツを通して人間としての幅や、世界が広がっていったと実感しています。アスリートとして、自分もそのようなスポーツの力や魅力を、たくさんの人に伝えていきたいと思っています。



生徒たちは「学校の先輩にオリンピック選手がいることは誇りです」「直接アドバイスをもらえて、うれしい」と目を輝かせていました

オリンピック会場から近い山梨は最高の合宿地

普段練習をしている環境とオリンピック開催地の環境は全く違うので、気候や時差などに慣れるためにも、事前合宿は選手にとって大切な意味を持ちます。山梨は東京に近く、移動による体への負担が少ないですし、練習施設も整っています。また自然も豊かでリフレッシュできますから、選手が集中力を高め、持てる力を十分に発揮することができる最高の合宿地だと思います。それに事前合宿は、山梨と海外の人たちとの間に交流が生まれ、良い機会にもなると思います。私自身、リオデジャネイロオリンピックのためにアメリカ



で事前合宿をしたとき、現地の子どもたちが観光案内をしたとき、

リオデジャネイロ オリンピック出場・陸上選手 野澤啓佑さん Keisuke Nozawa

1991年南アルプス市生まれ。
甲西中学校、県立巨摩高等学校卒業。
現在はミズノトラッククラブ所属。
リオデジャネイロオリンピックでは
400mハードルで準決勝に進出。
2020年東京オリンピックの出場を目指す
トップアスリート。

スポーツ
最高!

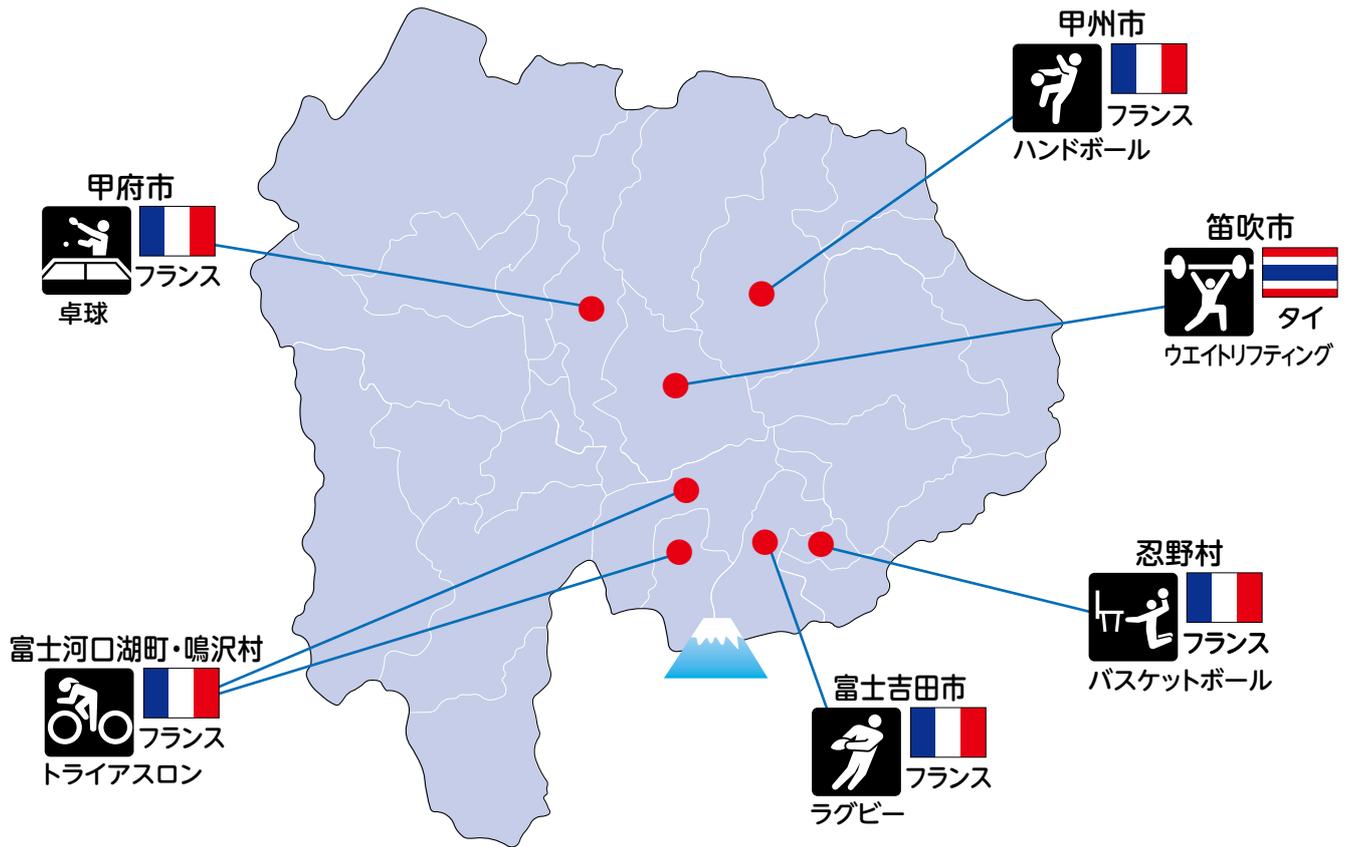


動画で見てみよう! 野澤啓佑さんのインタビュー

①スマートフォンまたはタブレットに「Layer」のARアプリをダウンロード無料②アプリを起動③右の写真にがざした後、タップすると動画が再生されます。



東京2020オリンピック・パラリンピック
事前合宿誘致決定市町村 (2017年11月現在)



東京2020オリンピック・パラリンピックに向けた本県の動き

県では、2020年7月から開催される東京オリンピック・パラリンピックに向けて「東京オリンピック・パラリンピックに向けた山梨県アクション2016-2020」を策定し、事前合宿誘致の推進をはじめとした地域における交流促進や、選手の育成などスポーツの振興に取り組んでいます。



事前合宿誘致から生まれる交流促進

東京オリンピック・パラリンピックは、世界の国々とスポーツや文化、産業などの分野で交流を深めることができる好機です。県では交流人口の増加や地域の活性化を図るため、各国の出場選手の事前合宿誘致に取り組む市町村を支援しています。7月には知事自らがフランスを訪問し、事前合宿の誘致活動などを行い、その結果、11月現在で7市町村6種目の誘致が決定しました。評価された要因としては、本県が都心に近く、美しく豊かな自然に恵まれていること、選手が集中するにもリラックスするにも最適な環境であることなどが考えられます。

また、知事のフランス訪問の際には、事前合宿の誘致活動をきっかけに、山中湖村がフランスのエピアン市と、スポーツ、観光分野などで友好交流協定を締結しました。このように、末永く幅広い分野での



国際総合戦略室
黒倉 美穂 副主任

交流につながることを期待して、今後も事前合宿の誘致を進めていきます。

また行政にとどまらず、例えばフランスの事前合宿地が集まる富士北麓地域では、この機会を生かし、自分たちができることで地元を盛り上げようと動き始めています。オリンピック・パラリンピックの開催やその事前合宿の様子は、世界の注目が日本に集まる、またとない機会です。開催まであと少し。多くの県民の皆さんに、この機会を生かしてどんなことができているのか、ワクワクしながら考え、行動していただければと思っています。



世界に羽ばたく選手を育成

県では、ジュニアアスリートトータルサポート事業として、オリンピック候補選手による県内ジュニア選手を対象にした講習会を行います。ジュニア選手の育成に力を入れています。

ジュニアアスリートトータルサポート事業

指導を受け 明確な目標が持てた

夢を持って世界を目指す選手に育ってほしい

私自身、現役の選手として東京オリンピック出場を目指してトレーニングを行っています。そのような中で、地元のジュニア選手に指導することは、技術をどう言葉にして教えるかを考えるので、自己を振り



ジュニアアスリートトータルサポート事業(カヌー) 講師
2012年ロンドンオリンピック出場
藤嶋 大規さん



スポーツ健康課
秋山 知洋
副主査・体育主事

平成28年度から3カ年計画で実施しているジュニアアスリートトータルサポート事業では、トップアスリートを講師として迎え、国体正式競技の41競技団体のジュニア層の強化を目的に、中学生(一部競技は小学生を含む)を対象にした講習会を開催しています。また、この講習会は、ジュニア層の競技力向上だけでなく、スポーツの普及や食事内容・メンタル面についてのアドバイスなどもできる指導者育成も視野に入れたものとなっています。



県立富士河口湖高等学校1年
渡辺 愛美さん

さつそうと水上を走る姿に憧れて、カヌーを始めました。藤嶋さんは私たちみんなが目標としている選手なので、直接指導していただけたことは、とてもうれしかったです。

体の動かし方やパドルの使い方など、普段の練習では気付かなかったことも藤嶋さんの指導のおかげで理解することができました。この講習会に参加したことで、より具体的な目標を自分の中に描くことができました。



藤嶋さんから「体を大きく使ってこいください」とアドバイスを受ける渡辺さん

返る良い機会になります。講習会の限られた時間の中でも、競技者として自分が今まで培ってきたテクニックやノウハウを伝えていけるよう、生徒たちに向き合っています。山梨のジュニアカヌー選手のレベルは高く、全国大会で優勝した選手もいますし、さらに多くの選手が全国のトップに食い込んでいける可能性も大いにあります。湖が身近にある山梨の恵まれた環境の中で、これからも練習を積んでほしいですね。そしてオリンピックや国体で活躍する選手へと成長していつてくれることを願っています。

【問い合わせ先】 事前合宿誘致については 国際総合戦略室 TEL 055-223-1545 FAX 055-223-1776
選手の育成については スポーツ健康課 TEL 055-223-1784 FAX 055-223-1786



ショートトラック

山梨学院大学4年
松島 ジョアンナ瑤子さん
いい滑りをして
ショートトラックを広めたい



ショートトラック競技は、駆け引きが重要です。ただ速いだけでは勝てないのが面白さであり、見どころです。また、一人の選手が短距離も長距離も滑り総合順位を競うので、作戦を練る必要もあります。国体を通してショートトラックを好きになり、応援してくれる人が増えたら、うれしいです。

フィギュアスケート

山梨学院大学1年
河西 萌音さん

豊かな表現力で
フィギュアの魅力を伝えたい



国体ではディズニーアニメ『美女と野獣』の曲を使用し、ストーリー性のある世界観を表現したいと思っています。他のスポーツと違って、感情を表現して観客に伝えることができるのがフィギュアスケートの魅力です。表情の変化なども含めて注目してほしいと思います。

第73回 国民体育大会冬季大会スケート競技会 平成30年1月28日(日)～2月1日(木)

式典・競技	会場	1月				2月
		28(日)	29(月)	30(火)	31(水)	1(木)
開始式(※)	富士吉田市民会館 富士五湖文化センター (ふじさんホール)	午前○				
表彰式						午後○
スピード	富士急ハイランド セイコオーバル		○	○	○	○
フィギュア	小瀬スポーツ公園 アイスアリーナ	○	○	○	午前○	
ショートトラック					午後○	○

※開始式を観覧できるのは、事前申し込みした方のみです。なお、事前申し込みは既に終了しています。

全国高等学校総合体育大会スケート競技会(冬季インターハイ) 平成30年1月22日(月)～1月26日(金)

スピードスケート



県立富士北稜高等学校2年
小佐野 梓さん
ベストを尽くして
入賞を目指します

スピードスケートの長距離は、ポイントを取る駆け引きとスピードが見どころです。私は1500mと3000mに出場します。コーナーの滑りに力を入れて練習してきたので、そこに注目してください。今回は地元開催ということもあるので、ベストを尽くして入賞したいと思っています。



冬季国体「富士の国やまなし国体」 まもなく開幕

2018年1月下旬から2月上旬にかけて、「今、君は氷上の風になる」をスローガンに、冬季国体(富士の国やまなし国体)が山梨を会場に開催されます。また、国体に先駆けて冬季インターハイも開催されます。県民の皆さんも、アスリートたちの熱い戦いを、会場で応援しましょう！





全力書道
パフォーマンス



県内9高校の生徒が創作に参加。「自分を信じて頑張してほしい」との思いを込め、縦2m、横5mの用紙に「スケート選手への激励・勇気づけ」「富士の国やまなしの魅力」をテーマにした2作品をそれぞれ創作しました。



のぼり旗創作



県内の小・中・特別支援学校合わせて10校が創作に参加。北杜市立泉小学校では、課外活動のスケートクラブに所属する児童たちが「各都道府県への激励メッセージ・イラスト」をテーマに、のぼり旗を作りました。

各都道府県の特産品や名所を自分たちで調べ、メッセージを添えて色鮮やかに描く子どもたちからは「諦めずに自分の力を出し切ってほしいという気持ちを込めて描きました」などの声が聞かれました。

全力幕絵創作

県内の小・中・高合わせて6校の児童・生徒が創作に参加。「スケート選手への激励・勇気づけ」「富士の国やまなしの魅力」をテーマに、幅5m、高さ1.4mの幕絵をそれぞれ描きました。幕絵には「選手たちに頑張してほしい」との思いが込められています。



河口湖南中学校組合立
河口湖南中学校(上)
北杜市立高根中学校(左)

北杜市立高根中学校美術部 作